

景況レポート

(2月分・情報連絡員80名)

景況DI値が2ヵ月連続で後退

【概況(全体)】

2月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが3.8%(前回調査2.5%)、「悪化」が43.8%(同36.3%)で、業界全体のDI値は-40.0となり、前月調査と比較し6.2ポイント下回り、2ヵ月連続で後退した。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、前月に引き続き製造業・非製造業ともに全国及び東北・北海道ブロックを下回り、低調に推移した。

【業界別の状況】

業界別では、一部のサービス業や建設業では回復傾向が見られた。一方、木材・木製品や小売業、商店街では景況感が後退した。なお、全体の景況感は、需要の減退や個人消費の低迷等により景気回復を感じられない状況が続いていることに加え、人手不足の慢性化で人件費も増加傾向にある等、内外の諸要因が経営コストを上昇させていることから、中小企業の先行き不透明感は依然として増大している。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-40.0	-25.8	-26.4
製 造 業	-34.4	-23.3	-25.6
非製造業	-43.7	-27.7	-26.9

<景況天気図>

項目	業界の景況	売 上 高	販 売 価 格	取 引 条 件	資 金 繰 り	雇 用 人 員
製 造 業						
非製造業						

【凡例】

快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 曇り △10以上 △30超 10未満
 雨 △30以下
 雷雨 △30以下

【天気図の見方】

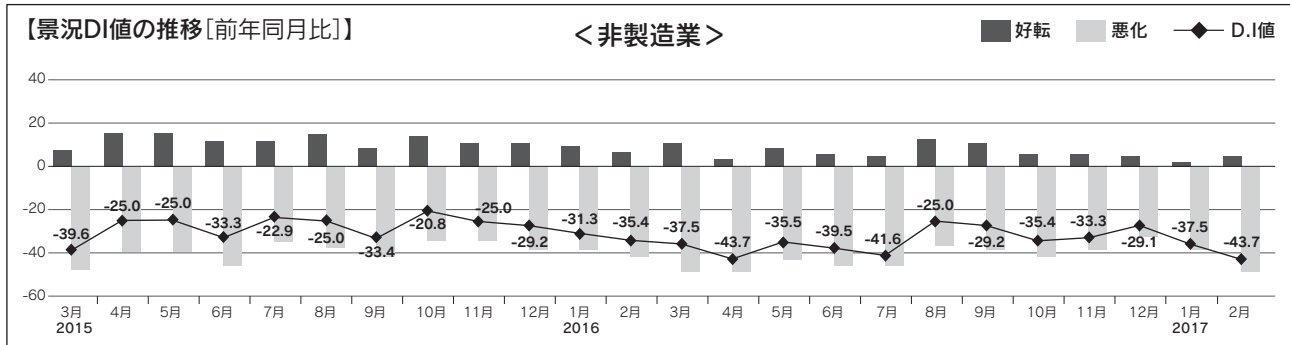
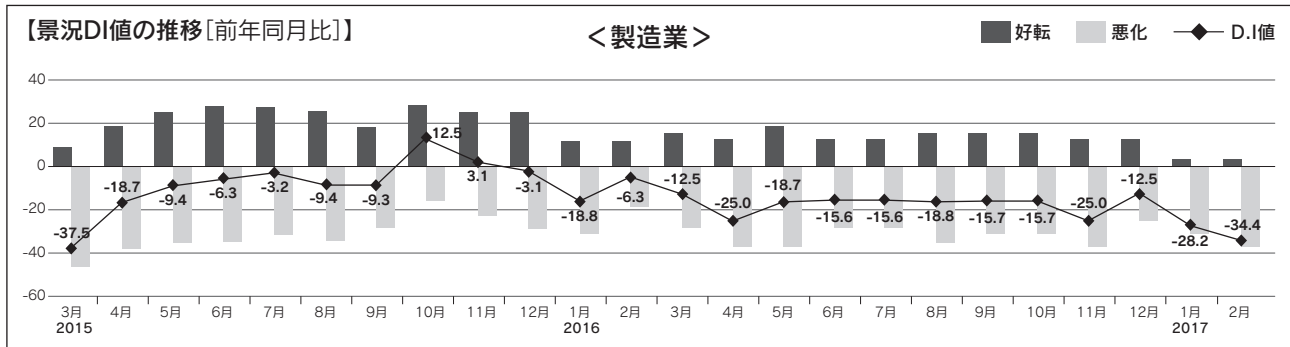
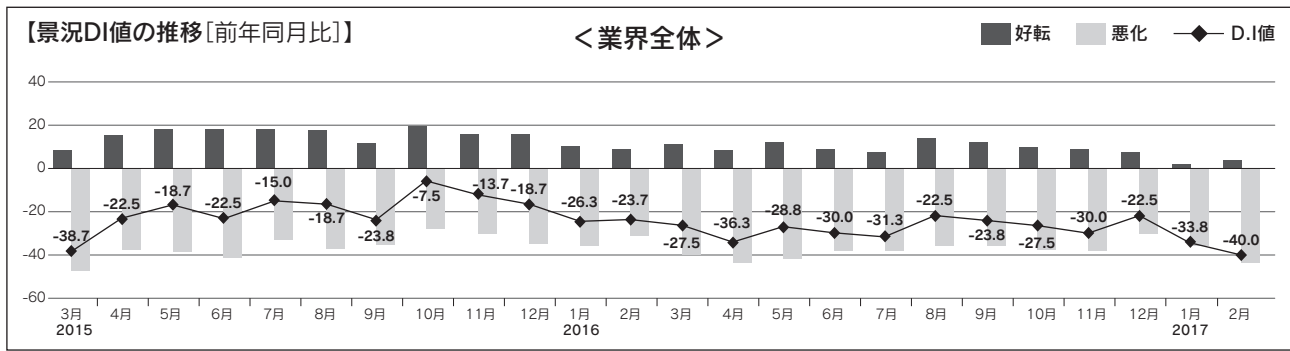
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ~製造業~

(回答数：32名 回答率：100%)

食 料 品 (菓 子)	各地で小正月行事やバレンタインなどがあり、各組合員企業は多忙であった。しかし、天候が悪いと買い物客も減少し個人消費が低迷することから、売上は厳しい状況である。
織 維 工 業 (ニ ッ ト)	夏物商品の生産が最盛期に入り、各組合員企業とも前年並みの受注を確保出来た。しかし、依然として加工賃が上がり採算性の向上が困難である。
織 維 工 業 (織 維)	気候が安定しないため春物商品の動きが悪く、受注は減少傾向にある。(中央地区)
木材・木製品 (一般製材)	2月は、稼働日数が少ないことや県内の荷動きが悪いことから、売上は減少傾向にある。(県南地区)
木材・木製品 (素材生産)	生産量は、前月同様に横ばいで推移している。来月から秋田プライウッド第二工場が稼働することから、合板用素材の在庫は減少すると見込まれる。
印 刷	年度末の需要が若干動いているものの、低価格の発注・受注は改善されておらず、依然として業況の回復を実感するまでには至っていない。(中央地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	2月の出荷数量は、前年同月比90.9%で推移した。また、4～2月の累計では同92.1%となった。今年度のお荷数量は約600,000m ³ と見込んでいるが、平成29年度は各地区の資料を参考に想定すると610,000m ³ と予想される。
鉄鋼・金属 (鉄 鋼)	2月は、見積物件が若干の増加傾向にある。しかし、受注の多い組合員企業と少ない企業との差が出ており、今後も不安定な状況になると考えられる。
一 般 機 器 (金属加工)	受注は全体的に好調に推移している。原材料の価格が上昇しているが、売値への転嫁が出来ていない状況である。また、依然として短納期が多く対応に苦慮している。
その他の製造業 (漆 器)	2月は、「犬っこまつり」の協賛行事として「川連漆器総合展示会」や、東京池袋で全国の伝統的工芸品が一堂に集まる「WAZA展」が開催された。WAZA展では実演の効果もあり、売上が前年より増加した。しかし、個人で各物産展に参加している方の売上は芳しくないようである。今後、新カタログの発刊に伴い、工芸館の商品の入替等を予定しているため、川連漆器を広く宣伝し、売上増加に努めたい。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

- | | |
|--------------------|---|
| 卸売業
(商業卸) | 売上は、需要の低迷や販売価格の上昇難から前年同月比横ばい、又は減少と回答する組合員企業が多い。なお、中途採用者を募集しても応募がない状況である。(秋田市) |
| 小売業
(クレジット) | 2月の総取扱高は、前年同月比で約17%の減少となった。全体的に売上が減少傾向にあり、特に衣料品が大幅な減少となった。消費の低迷により、来月の見通しも不透明な状況である。(大館市) |
| 小売業
(花卉小売) | 2月の売上は、県内の花卉業界全てがこれまでにない大幅な減少となり、消費が上向きであるとは考えにくい。購買意欲の低下や、贅沢品としての傾向があるお花は苦戦し続けているのが現状である。 |
| 商店街 | 消費者の購買力の低下により、前年同月以上に業況の後退が感じられる。(秋田市) |
| サービス業
(旅行) | 2月の売上は、前年同月比で国内旅行は140%、海外旅行は92%で推移した。景気が上向いているのか、自動車関連・土木関連業種の社員旅行が国内・海外とも増加した。 |
| 建設業
(管工事) | 一部の組合員企業に新規工事の受注があったが、全体的に見ると厳しい業況となっている。(大館市) |
| 建設業
(電気工事) | 一般住宅の受注は低調に推移しているものの、公共物件や店舗等の受注工事があった。(秋田市) |
| 運輸業
(トラック) | 2月と8月は一番仕事がない時期とされているが、この2月は組合員からの荷物(電子部品)の紹介があり、前年同月より売上が増加した。軽油価格は前月より50銭下がったものの、来月はまた値上がりするとのことで動向に注視している。(中央地区) |
| その他の非製造業
(砂利採取) | 公共工事が減少していることに加え、冬期間になり骨材の動きは鈍くなっている。(県南地区) |